

性(GO)、無方向性(N
O)の電磁鋼板は需要
拡大が期待されてい
る。ともに精緻な造り
込み技術が必要とする
機能材料で、日鉄が得
意とする高効率・薄手
材は最先端技術材料の
一つともいわれている
。今回の広畑の追加
投資は、電気自動車の

鋼材加工センター(型钢、鋼管、非鉄)
3次元レーザー加工
試作から量産品まで短期対応
12Mまで加工可能
麻布成形株式会社
ISO9001/14001 認証取得
TEL 047-354-8211
http://www.az-azabu.com

の変圧器に使われてい
る。中国やインドなど
で政府主導の電力イン
フラ整備が進むほか、
欧州でもCO₂削減を
目指した環境規制・エ
コデザインが21年に
も始まる見込み。取引
先の大手重電メーカー
などからは品質・数量
ともに対策が求められ

日本製鉄は6日、2
021年3月期の連結
事業損益予想を600
億円の赤字と前回予想
の1200億円の赤字
から上方に修正したと
発表した。下期に46
5億円の黒字を見込
む。通期の単独経常損
益予想は1400億円

と鋼材需要が回復し、
落ち込んでいた粗鋼生
産・鋼材出荷が増え、
グループ会社の損益改
善が進む。固定・変動
費の圧縮など収益改善
策も効果を上げ、下期
の事業損益は465億
円と黒字化を予想し、
前回予想の下期300
億円の赤字から

通期の単独粗鋼生産
量は3270万ト程度
と前回予想から90万ト
増、鋼材出荷量は31
00万ト程度と同13
0万ト増える見込み。
単独粗鋼は上期146
万トから下期に18
万ト増える見込み。

指す方針。特に電動化
で伸長が期待される車
載部品は「実質的には
電機分野なので、これ
までの技術やノウハウ
が生かせる(西山晋平
専務取締役)とみて、
積極的に取り込みたい
考えた。」**関連記事3面**

西山鋼業 福島を増強投資完了

プレス機 車向け受注拡大狙う

薄板加工販売やプレ
ス加工、金型設計・製
作などを行う西山鋼業
(本社「東京都荒川区
西山寛社長」)はこのほ
ど、プレス・金型事業
拠点の福島事業所(福
島県田村市)で進めて
いた増強投資を完了し
た。サーボプレス機を
はじめ、最新鋭の加工
設備や検査装置などを
導入することにも、レ
イアウト改良などで構
内物流を改善し、幅広
いニーズに対応できる
生産体制を確立した。
主力の電機や建築向け

に加え、開拓余地のあ
る自動車向けでも受注
拡大を狙う。
プレス・金型事業の
強化に向け、同事業所
に総額1億円超を投じ
て、数年前から段階的
な能力増強を実施。コ
イルセンターからの一
貫生産を強みとするプ
レス加工事業では、深
絞りなどの超精密加工
が可能となる200ト
サーボプレスを新設し
、大物加工に適した
200トクラックプレ
スを2基増設した。20
0トプレスのうち、1
基にはレベラーフィー
ダーを取り付けて順送
り化し、横浜事業所から
も200ト順送プレス
を移設。順送加工は6
基体制に拡充された。
特色のある設備が増え
たことで、大物品や品
質要求のシビアな製品
など、付加価値の高い
仕事を取り込むことに
寄与している。
金型事業では、マシ
ニングセンターと平面
研削盤を1基ずつ増設
し、製作能力を引き上
げた。非接触で対象物

の寸法を高精度で測定
できる最新鋭の画像測
定システムを導入。製
品の検査用途のほか、
金型業者の廃業が増え
た影響で「図面が手元
に残っていないプレス
加工業者も多く、製品
を測定したデータを元
に金型を作ってほしい
という依頼も増えてい
る(上田力所長)とい
う。

二次加工設備もさら
に充実させ、炭化水素
系の真空洗浄乾燥機を
新設。既存のアルカリ
イオン水洗浄機以上に
洗浄後の表面美観が求
められるステンレスな
どの非鉄素材に適用し
ている。従来は外部に
委託していたが、内製
化が可能となり、洗浄
品質も向上した。
増強投資と並行し
て、構内物流改善にも
着手。1カ所のみだっ
た出入庫口を入庫専用

とし、新たに屋根付き
の出庫口を開設。プレ
ス機の効率的な再配置
や金型保管棚の設置、
空箱保管用の中二階増
設などにより、生産性
も飛躍的に高まった。
同事業所の稼働率は
6月を底に回復し、足
元は新型コロナウイルス
ス禍以前の水準に戻っ
た。自動車向けは受注全
体の1割と少なく、す
そ野も広いことから、
さらなる受注拡大を目
ざしている。コロナ前か
ら取り組んでいた新規開
拓に向けた取り組みも
実り、直近ではプレス
と金型の双方で自動車
分野からの新規受注を
獲得した。
自動車向けは受注全
体の1割と少なく、す
そ野も広いことから、
さらなる受注拡大を目
ざしている。

厚生労働省はこのほ
ど、卓越した技能者に
贈る「現代の名工」の
表彰対象者150人を
決めた。各業界その
道の第一人者と目され
る技能者を表彰し、職
人や技能者を目指す者
者に目標を示すもの
で、鉄鋼関連では神
製鋼所から製鉄工で加
古川製鉄所の川添卓
氏、型内鍛造工で高砂
製作所の藤井剛氏、機
械修理工で加古川製
鉄所の岩恵広司氏の3



サーボプレスで超精密加工を実現



金型加工設備も増設
(マシニングセンター)